

きらめく  
まちビト

×

若松 侑治 若松 衣利加



平成30年にUターンし、3季目の春を迎えた若松さんご夫婦。定番野菜のほか、一風変わった野菜に目を向け好奇心旺盛に農業を行う2人に、今後の目標などについてインタビューしました。

未来の農業を見据え、見るだけで心弾む野菜をつくりたい！

**戻ろうと思ったきっかけは**

大学で札幌に行き、そのまま飲食店の仕事に就きました。実家で過ごしていた頃は、何も思わず食べていた野菜が、働くようになると、とてもおいしく感じるようになり、もっと食べたいと親にお願いをして送ってもらっていました。そのとき、そんなおいしい野菜を一から作ってみたいなあと思うようになり、幸いにも戻ればその環境があったので、一念発起し戻ってきました。

**その決断に衣利加さんは**

お付き合いの段階で、いずれ名寄に戻って農業を継ぐことを聞いていました。そのときにこちらにもお邪魔して、お手伝いをしていました。あたたかく受け入れてくれました。たし、抵抗感はなかったです。札幌にいたときは事務系の会社に勤めていて、今とまったく違うことをしていました。侑治さんも飲食業で忙しく、お互い時間が取れない状況だったので、生活環境がガラッと変わったものの、今は良い時間を過ごせています。

**こちらに住んでみて**

**札幌との違いは**

札幌は自転車一台あれば十

分でしたが、名寄は車がないと不便に感じます。そして車を利用しすぎて運動不足になり、最近体重が気になっていきます。あと、札幌だとただただ忙しかったので、一日の流れがあつという間ですが、こちらは時間がゆっくりで、余裕を持って計画的に行動ができます。ただ、ちよつとした時間だとやることなく休みがヒマつてこともあるのが難点です。

**これからどんな作物を**

道の駅に出している野菜類は自由度高く取り扱ってもらえるので、見映えがいいものや普段見かけないものを取り入れています。去年も作り、今年も作付けする予定はUFOズッキーニ。個性的な形をしています。食べてもとてもおいしいです。また、もとも作っている農家さんに教えて山ワサビを作ろうと思っています。さらに今年は、イタリア野菜に目をつけていて、イタリアのトマトやナスなどを作っていきたいと思っています。インターネットを駆使して、既に育てている地域とこの地域の気候状況などを考えて、この地で作っていけ

るおいしくて珍しい野菜の種類をどんどん増やしていきたいです。

**これからの目標は**

まだまだ日々勉強、見習い期間中です。農業ノウハウはもちろんのこと、基本的な需要のある農作物の作付けや最先端で流行しそうな野菜類の取り入れ、少し先のことですが、経営面としても人を雇うことや仕事を指示することなどたくさんのお話を勉強します。

**市民の皆さんにひとこと**

見映えのいい野菜をつくっています。鮮度抜群でもちろん味もおいしいです。見るだけでも興味を持てると思いますので、ぜひ道の駅に立ち寄りご覧いただきたいです。

Profile

若松 侑治 (わかまつ ゆうじ)  
衣利加 (わかまつ えりか)

2人共通の趣味は旅行。侑治さんはカレーが大好きで、こだわって自分でも作る。トランポリンをしていて、少年団の指導者としても活躍。衣利加さんは料理が趣味で、現在ハマっているのは肉まんづくり。資格マニアでもあり、最近「農業簿記」も取得。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。